

病害虫発生予察注意報（第1号）

平成30年9月14日

神奈川県農業技術センター

病害虫名：シロイチモジヨトウ

作物名：野菜類、花き類

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- （1）当センター病害虫防除部が三浦市初声町和田、横浜市神奈川区羽沢町、伊勢原市下谷に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、7月第1半旬から8月第6半旬までの合計が786.4頭と平年（165.6頭）の約4.7倍であり、8月第6半旬に急増した（図1）。
- （2）県予察ほ（平塚市上吉沢）のフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、7月第1半旬から8月第6半旬までの合計が78.0頭と平年（25.6頭）の約3.0倍であり、9月第1半旬に急増した（図1）。
- （3）気象庁が9月6日に発表した1ヶ月予報では、気温は平年並か高いと予想されている。

4 防除対策

- （1）本種は寄主範囲が広く、ネギ類以外にも、アブラナ科野菜、マメ類、花き類等を加害するので注意する。また、休眠性はなく施設栽培では周年発生するので注意する。
- （2）幼虫が分散する前の早期発見に努め、卵塊やふ化直後の1～2齢幼虫の集団を見つけたら速やかに取り除き適切に処分する。
- （3）幼虫が作物内に侵入してしまうと薬剤効果が低下するため、被害を確認したら直ちに防除を行う。
- （4）老齢幼虫に対しては薬剤効果が低下するため、薬剤散布は若齢幼虫のうちに実施する。また、同一系統の薬剤の連用は避ける。
- （5）ネギは薬液をはじきやすいため、水溶剤や水和剤には展着剤を加用し、薬液が十分付着するように散布する。

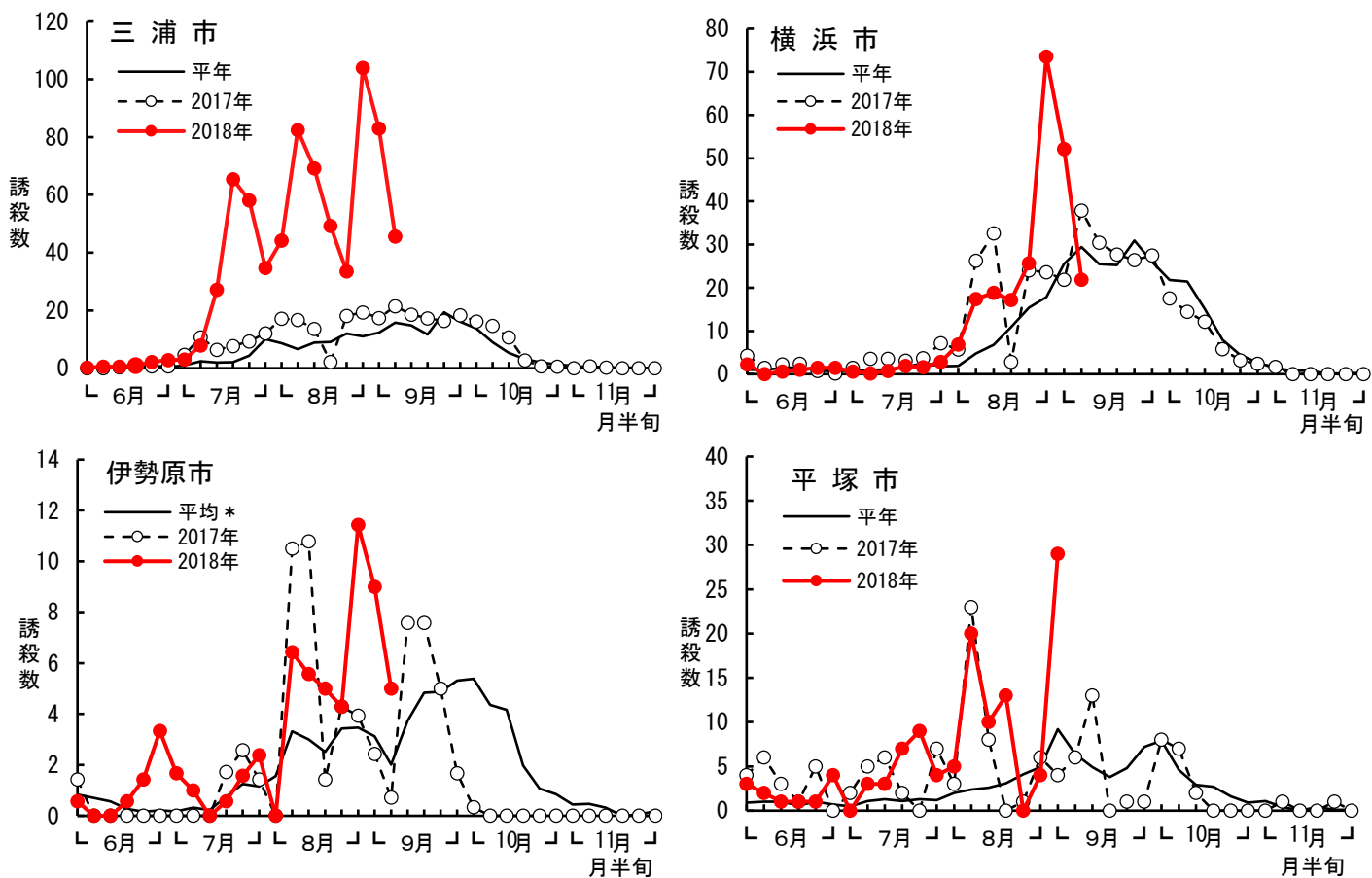


図1 フェロモントラップへのシロイチモジヨトウ雄成虫誘殺数の推移
*伊勢原市の平均は、2009～2017年

5 防除薬剤

ネギの防除薬剤の例を表に示した。なお、農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

表 ネギのシロイチモジヨトウの防除薬剤例

薬 剤 名	IRAC コード	使用時期	使用回数
ベリマーク SC	2 8	7 日 (株元灌注)	1 回
ディアナ SC	5	前日	2 回
アニキ乳剤	6	3 日	3 回
カスケード乳剤	1 5	1 4 日	3 回
フェニックス顆粒水和剤	2 8	7 日	3 回
プレバソンフロアブル 5	2 8	3 日	3 回

神奈川県農業技術センター
病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢1617
TEL 0463-58-0333
FAX 0463-59-7411
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/#450002/>